

平成30年度

豊中市立図書館の中長期計画  
(豊中市立図書館ランドデザイン)  
進捗状況一覧表

- 図書館の使命と理念
- 概念図
- 4つの目標
- 28のプラン

令和元年7月

豊中市立岡町図書館

## 図書館の使命と理念 基本目標

### <公共図書館の使命・理念>

- ・多様な資料や情報を収集・保存し提供することにより、すべての市民に知る機会を保障します。
- ・民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- ・市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

### <豊中市立図書館の使命・理念>

- ・豊中市立図書館は「ユネスコ公共図書館宣言」・「図書館法」・「図書館の自由に関する宣言」に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- ・豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- ・豊中市立図書館は、教育・文化・情報・社会参加の機関として、その任務を果たすことを使命とします。

### <豊中市立図書館の基本目標>

1. 図書館活動全般を通じて、教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより、市民生活に密着した、より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. 「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等に優しい情報提供や読書環境を整備し、誰もが共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら、「豊中市市民公益活動推進条例」等をふまえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。

# ＜グランドデザイン 4つの目標と28のプラン 概念図＞

「豊中市立図書館グランドデザイン」とは、平成35年(2023年)までに図書館のめざす姿を実現するために、平成26年3月に策定されたものです。

## 1 市民と地域の自立を支えます

### G サービス(a 利便性の向上)

- ⑳ 図書館活用の幅を広げる
- ㉒ 集会室利用の活性化

### G サービス (b 地域との関係強化)

- ㉓ 市民の社会参加、地域との関わりづくりの支援
- ㉔ 地域情報の活用機会の提供
- ㉕ 図書館サポーターへの参加機会の提供

## 2 利便性を向上させ、あらゆる情報を提供します

### G サービス(a 利便性の向上)

- ⑰ セルフ貸出、返却、予約受取
- ⑱ 開館日数の拡充
- ⑲ 予約資料の受取場所の拡充
- ㉑ ICTの活用
- ㉒ 広域連携の拡大

## 今後10年に特化した4つの目標

## 3 地域課題の解決に尽力します

### B 職員 (a 組織)

- ④ グループ制の導入
- ⑦ 館ごとの目標設定

### B 職員 (b 人材育成)

- ⑧ 関連部局との人事交流

### D 調査・分析

- ⑭ 調査分析

### F 資料

- ⑯ 地域で必要とされる資料の提供

### G サービス (b 地域との関係強化)

- ㉖ 地域情報の活用機会の提供

## 4 子どもの学びを支えます

### B 職員 (b 人材育成)

- ⑪ 学校図書館を支援する人材の配置

## 目標実現を支えるプラン

### A 図書館運営

- ① 最適な実施手法の確立
- ② 評価システム
- ③ 業務の改善・集中化

### B 職員 (a 組織)

- ⑤ 職員の役割分担
- ⑥ 採用計画の作成

### B 職員 (b 人材育成)

- ⑧ 関連部局との人事交流
- ⑨ 体系的な研修の実施
- ⑩ 先進事例の研究

### C 施設・物流 (b 物流)

- ⑬ 柔軟な物流体制

### C 施設・物流(a 施設活用)

- ⑫ 施設配置の最適化

### E 情報

- ⑮ 情報の積極的収集、共有・活用

### G サービス(a 利便性の向上)

- ⑰ セルフ貸出、返却、予約受取
- ⑲ きめ細やかな接客

### H 広報

- ㉗ 効果的な広報

# グランドデザインの4つの目標 進行管理報告書(平成30年度)

グランドデザインの4つの目標とは「豊中市立図書館の中長期計画 豊中市立図書館グランドデザイン」(平成26年3月策定、以後グランドデザイン)において、令和5年(2023年)までに図書館のめざす姿を実現するために設定されたものです。図書館のめざす姿を実現するため、28のプランを優先順位の高いものからすすめることになっています。この優先順位の高いプランの実施状況を確認することで、グランドデザインの進捗状況の点検をすすめていきます。進行管理については以下のとおり行います。

- ・0～4の目標のうち、複数のプランがあるものについては、図書館の使命および関連の事業計画や当該年度における図書館を取り巻く現状などに照らし合わせ、年度ごとに優先順位を決定します。決定には直接サービスに関わる分館の施設長等も関わります。
- ・28のプランを関連する4つの目標(1～4)と目標実現を支える取り組み(0)ごとに分類します。
- ・28のプランの優先順位の高い取り組みを抽出し、事業ごとの取り組みや課題、次年度に向けての予定を達成状況とともに表しています。
- ・優先順位の高い取り組みがどの程度達成できているか確認することにより、図書館のめざす姿の実現に向けての進行管理とします。

達成度 ◎:十分達成できた ○:おおむね達成できた △:一部達成 ー:未達成

## 1. 学びによる市民と地域の自立を支えます。 該当プラン ⑳・㉑・㉒・㉓・㉔

| 優先的な取組プランと事例  | 達成状況 | 課題、令和元年度に向けての取り組み   |
|---|------|---|
| <p>【優先的取組プラン:㉑図書館サポーターへの参加機会の提供】</p> <p>【事例】</p> <p>・庄内図書館では月2回、本の修理を中心にサポーターの活動をおこなっています。30年度は、閲覧用の椅子カバーの張替え作業などにも参加していただきました。また、3月にはサポーターと担当職員による振り返りをおこない、市民目線による事業への提案や意見交換をおこなうとともに、サポーター募集のポスターをサポーターと担当職員で作成しました。さらに「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」を実施し、サポーター事業の案内をおこないました。</p> <p>・野畑図書館では、30年7月から月2回に回数を増やし、CDや本の装備を中心にサポーターの活動をおこなっています。</p> <p>・庄内幸町図書館では、30年1月から自習・新聞閲覧スペースの見守りサポーターを開始しました。</p> | ○    | <p>【課題】</p> <p>○継続したサポーターの募集および確保</p> <p>○多くの市民に参加してもらえよう、参加者のニーズの把握と魅力あるメニュー作り㉑</p> <p>【令和元年度に向けての取り組み】</p> <p>引き続き「図書館のお仕事体験ツアー」を開催してサポーター希望者を募集し、活動の機会を提供します。㉑</p> |

## 2. 市民の利便性を向上させあらゆる情報を提供します。該当プラン ⑰・⑱・㉕・㉖・㉗

| 優先的な取組プランと事例   | 達成状況 | 課題、令和元年度に向けての取り組み  |
|--|------|--|
| <p>【優先的取組プラン:⑰セルフ貸出・返却・予約受取】</p> <p>【事例】</p> <p>東豊中図書館、服部図書館にセルフ式予約受取棚を設置しました。</p>   | ◎    | <p>【課題】</p> <p>○セルフ貸出機、返却機のさらなる活用の検討、セルフ式予約受取棚設置に向けての図書館システム変更なども含めた環境整備</p> <p>○フロアワークの充実や利用者の利用動向についての分析が必要。⑰</p>  |
| <p>【優先的取組プラン:⑱開館日数の拡充】</p> <p>【事例】</p> <p>・6月の大阪北部地震、9月の台風により臨時休館を余儀なくされました。台風による被害などにもない、集会所を持つ野畑・高川・服部・東豊中の4館において緊急的措置としての避難所開設の要請があり各館で受入態勢を整えました。</p> <p>・服部図書館では資料点検期間にも2日間セルフ式予約受取棚を開放し、予約資料を提供しました。</p> <p>・岡町図書館こども室の開館時間試行延長の効果検証をおこない、平成30年度についても7月～8月の間試行を実施しました。</p> | ○    | <p>○全館的な事業の見直しやさらなる効率化による状況に応じた応援体制の構築</p> <p>○図書館を災害時に避難所とする場合の態勢整備</p> <p>○シフト勤務による職員間の連絡調整及び全体会議や研修の機会保障⑱</p> <p>【令和元年度に向けての取り組み】</p> <p>・野畑図書館にセルフ式予約受取棚を導入します。</p> <p>・システムリプレイスに向けて適正なIC機器の設置についての検討をすすめます。⑰</p> <p>・東豊中図書館は空調工事のため一時休館となる期間も予約本の受け渡し等、一部のサービスを継続して実施できるよう努めます。⑱</p> |

3. 地域課題に対応した図書館サービスを提供します。 該当プラン ④・⑦・⑧・⑭・⑯・⑳

| 優先的な取組プランと事例  | 達成状況 | 課題、令和元年度に向けての取り組み   |
|---|------|---|
| <p>【優先的取組プラン:⑭調査分析】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度実施の来館者アンケートについて分析し、サービス改善に役立てる旨、平成29年度第1回図書館協議会評価部会において報告しました。分析PRチームではアンケートの分析作業をおこない、今後各館の利用者の視点から図書館のあり方を考えるうえで参考資料となるよう、報告書としてまとめました。</li> <li>・公益社団法人 日本図書館協会が発行する『日本の図書館一統計と名簿』を用いて、中核市を中心に市民1人当たりの図書館費の現状の把握をおこないました。</li> </ul> | ◎    | <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各館におけるアンケートの活用</li> <li>○市民1人あたり図書館費の現状把握し、今後の職員体制や各館のあり方、サービスについての検討が必要⑭</li> </ul> <p>【令和元年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度にまとめた報告書を基に、事務事業およびグランドデザインの間見直しをおこないます。⑭</li> <li>・館内でのわかりやすい表示の作成など、各館でより親しみやすい、利用しやすい図書館に向けて創意工夫を続けます。⑭</li> <li>・(仮称)中央図書館基本構想策定に向けてアンケート(来館者・郵送)を実施します。⑭</li> </ul> |

4. 学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びの基礎作りを支えます。 該当プラン ⑪

| 優先的な取組プランと事例   | 達成状況 | 課題、令和元年度に向けての取り組み   |
|--|------|---|
| <p>【優先的取組プラン:⑪学校図書館を支援する人材の配置】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館活用研修、校内研修を実施しました。</li> <li>・学校図書館を活用した授業実践の支援に小中学校へ出向きました。</li> <li>・「学校図書館を活用した授業実績(単元数)」の集約方法を見直し、分析結果を学校へフィードバックしました。</li> <li>・学校図書館を活用した授業等の好事例を取材し、「ブックラネット通信」を発行、情報の発信と共有をおこないました。</li> <li>・大規模校における学校図書館業務の支援策等について検討をすすめました。</li> <li>・小中一貫校における学校図書館の検討をすすめました((仮称)北校学校図書館担当者会)。</li> <li>・知的探究合戦「めざせ! 図書館の達人」、豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会、子ども読書活動フォーラムを開催しました。</li> </ul> | ○    | <p>【課題】</p> <p>小中学生の読書環境等の実態把握とそれに基づく各学校への学校図書館支援⑪</p> <p>【令和元年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生を対象にした読書に関するアンケートの実施について検討をすすめます。</li> <li>・(仮称)庄内さくら学園に向けた学校図書館統合について準備をすすめます。</li> <li>・新任学校司書を対象にした研修の充実をはかります。⑪</li> </ul> |

0. 1から4の目標実現を支えます。  
 該当プラン①・②・③・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩・⑫・⑬・⑮・⑰・⑳・㉒・㉓

| 優先的な取組プランと事例  | 達成状況 | 課題、令和元年度に向けての取り組み  |
|---|------|--|
| <p>【優先的取組プラン:①最適な実施手法の確立】<br/>                     【事例】<br/>                     ・東豊中図書館・服部図書館の多機能化、効率的な運営をめざして、セルフ式予約受取棚を導入しました。<br/>                     ・民間活力の導入の一つとして、コンビニエンスストアでの予約資料受取りについて、該当地域の業者と協議しましたが、実施にはいたりませんでした。</p>            | ○    | <p>【課題】<br/>                     ○セルフ式予約受取棚設置およびサービスポイントでの予約資料受取実施に向けて、図書館システム変更なども含めた環境整備<br/>                     ○事務事業の見直しの進捗状況や今後の図書館のあり方についての職員間における情報共有①<br/>                     ○常勤職員が減少する中、多様な雇用形態での運営管理の継続実施に向け必要な各職域の役割の再検討が必要。<br/>                     ○職場内での相互の学びあいによる人材育成の仕組みづくり。<br/>                     ○「豊中市人材育成基本方針」に基づき、職員ひとりひとりが果たすべき役割とめざすべき行動について振り返りの機会を持つ。⑤</p>  |
| <p>【優先的取組プラン:⑤職員の役割分担】<br/>                     【事例】<br/>                     ・会議の効率化・迅速化をはかるために、成人・児童サービスの各担当者連絡会に相談役として、引き続き施設長・副館長のなかから1名ずつ配置しました。</p>   | △    | <p>○多様な雇用形態による運営管理の継続実施、貸出等一部業務のセルフ化による効果の最大化<br/>                     ○労働市場の変化に対応し、優れた人材の確保、および図書館事業の継続性の確保⑥<br/>                     ○経験年数や配属に即した体系的なプログラムの検討⑨<br/>                     ○中央館機能を持った図書館を核とした施設配置のあり方⑫</p>  |
| <p>【優先的取組プラン:⑥採用計画の作成】<br/>                     【事例】<br/>                     ・事務事業の見直し進捗管理(総務部行政総務課主管:(元)特定事業の見直し)において、図書館事業総コスト・「公共施設総合管理計画」における考え方などの全体像のなかで、職員体制に関する議論も継続しておこないました。</p>   | △    | <p>【令和元年度に向けての取り組み】<br/>                     ・野畑図書館のセルフ式予約受取棚設置に取り組みます。またサービスポイントについても継続して検討をすすめます。<br/>                     ・(仮称)南部コラボセンター開設に向けた図書館フロアの詳細なフロアイメージを作成します。①</p>   |
| <p>【優先的取組プラン:⑨体系的な研修の実施】<br/>                     【事例】<br/>                     文部科学省国立社会教育研究所主催の図書館司書専門講座に1名が参加しました。レファレンスサービスや障害者サービス、子ども読書活動、ヤングアダルトサービスなど職員が人材育成上必要な研修について継続して受講の機会を設けました。また大阪府図書館司書セミナーの参加者による研修報告をおこない、成果の共有化をはかりました。</p> | ○    | <p>・会議の効率化・迅速化をはかることをめざし、引き続き、担当者連絡会に相談役として施設長・副館長から各1名、新たに担当職員から窓口担当を各1名配置します。<br/>                     ・事務事業の見直し等による図書館全体の人員の見直しのなか、危機管理面に配慮した運営管理を整えつつ、豊中市職員また図書館職員として必要な各職域の役割について再度の周知をおこないます。⑤<br/>                     ・他部局や学校図書館から配属された職員を対象とする図書館内部の業務研修を引き続き実施します。<br/>                     ・セルフ機の効果を最大化し業務の効率化・負担減少につなげます。<br/>                     ・基本政策の一つである(仮称)中央図書館基本構想の策定にむけて、施設の再編とあわせ職員体制に関する議論もおこなっていきます。⑥</p> |
| <p>【優先的取組プラン:⑫ 施設配置の最適化】<br/>                     【事例】<br/>                     ・図書館協議会における議論をふまえ、中央図書館機能について検討しました。<br/>                     ・図書館が身近にない地域においてコンビニエンスストアでの予約受け渡しの可能性について該当地域の業者と協議しましたが実施にはいたりませんでした。</p>                       | △    | <p>・職員の多様な雇用形態をふまえ、キャリア形成の視点を大事にした研修を企画するとともに、さまざまな研修への参加を通して、市民サービスの向上につなげていきます。⑨<br/>                     ・「豊中市公共施設等総合管理計画」に基づき、図書館協議会の議論をふまえ、(仮称)中央図書館基本構想の令和2年度度中の策定に向けて取り組みます。また中央館機能を持った図書館を核とする施設配置や機能分担のあり方について市民ニーズ調査を実施するとともに庁内会議で検討をすすめます。⑫</p>   |

# グランドデザインの28のプラン

20190710

優先順位 A：最優先 B：優先 C：通常

達成度◎：年度内に予定した取り組みを十分達成できた ○：おおむね達成できた △：一部達成 ー：未達成

|            | 項目   | 達成状況と課題、予定  |
|------------|--|---|
| A<br>図書館運営 | <p>① <b>【最適な実施手法の確立】</b><br/>サービスの質の維持・向上を図りながら効率的・効果的に図書館運営を行っていくとともに、地域特性をふまえた特色ある図書館づくりを進めていくため、サービス及び経営の両面から業務の実施主体の見直しも含め、最適な実施手法を確立していきます。</p> | <p><b>【平成 30 年度事例】</b><br/>・東豊中図書館・服部図書館の多機能化、効率的な運営をめざして、セルフ式予約受取棚を導入しました。<br/>・民間活力の導入の一つとして、コンビニエンスストアでの予約資料受取りについて、該当地域の業者と協議しましたが、実施にはいたりませんでした。</p> <p><b>【現状】</b><br/>庄内幸町を除く市内地域館、分館すべてに設置されたセルフ貸出機の活用をすすめています。</p> <p><b>【課題】</b><br/>○セルフ式予約受取棚設置およびサービスポイントでの予約資料受取実施に向けて、図書館システム変更なども含めた環境整備<br/>○事務事業の見直しの進捗状況や今後の図書館のあり方についての職員間における情報共有</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p> <hr/> <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/>・野畑図書館のセルフ式予約受取棚設置に取り組みます。またサービスポイントについても継続して検討をすすめます。<br/>・(仮称) 南部コラボセンター開設に向けた図書館フロアの詳細なフロアイメージを作成します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：A】</b></p> |
| A<br>図書館運営 | <p>② <b>【評価システム】</b><br/>豊中市立図書館評価システム」に基づき、事業目的に合わせたサービス提供を検討します。</p>   | <p><b>【平成 30 年度事例】</b><br/>平成 29 年度実施した「自己点検報告書」、「図書館利用者アンケート調査」、「豊中市立図書館協議会評価部会」による「豊中市立図書館の運営状況に関する評価報告書」、及び「グランドデザイン」をふまえ、「評価項目表」を改訂しました。</p> <p><b>【現状】</b><br/>グランドデザイン（令和 5 年度まで）の進捗管理を優先しています。今後の目標値のあり方について精査をおこなっています。</p>   |

|                            |   |  |
|----------------------------|---|--|
|                            |   | <p><b>【課題】</b><br/> ○各館の業務のなかで、評価項目表に関わる作業の一層の効率化<br/> ○グランドデザインの間見直し</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：△】</b></p>   |
|                            |   | <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/> ・目標値について精査しながら、評価項目表を作成します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p>  |
| A<br>図<br>書<br>館<br>運<br>営 | ③ <b>【業務の改善・集中化】</b><br>図書館業務の改善・集中化を進めます。    | <p><b>【平成 30 年度事例】</b><br/> ・東豊中図書館と服部図書館を機能変更し、セルフ式予約受取棚を導入して、業務の効率化につなげました。<br/> ・庄内幸町図書館については地域館との一体運営とし、庄内図書館から週 3 日の開館日に必要な人員を配置する形としました。高川図書館の夜間開館についても新たな体制づくりに取り組みました。<br/> ・各職域のバランスを考慮しながら、祝日開館の館の運営および閉館中の館の返却ポスト作業について全館的な人員体制の調整をおこないました。</p> <p><b>【現状】</b><br/> ・各館に導入されたセルフ貸出機など IC 機器の利用を促進し、さらなる業務の効率化と利便性の向上をはかっています。<br/> ・高川図書館の夜間開館については平成 29 年度試行的におこなった人員配置について、平成 30 年度から庄内図書館との一体的な危機管理体制を整えつつ本格的に実施しています。</p> <p><b>【課題】</b><br/> ○システムリプレイスによるさらなる業務の効率化と利便性の向上<br/> ○全館的な応援体制の確立</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p> |
|                            |   | <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/> ・野畑図書館にセルフ式予約受取棚を導入します。<br/> ・引き続き、予約受取りのサービスポイントの設置について検討します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p>   |
| B<br>職<br>員<br>a<br>組<br>織 | ④ <b>【グループ制の導入】</b><br>全市的な課題に基づいたグループ制を導入します | <p><b>【平成 30 年度事例】</b><br/> ・成人サービス担当者連絡会では、会場を野畑図書館に通年固定とし、資料運用グループとともに書庫内の蔵書の見直し作業に取り組みました。また、会議録作成の迅速化をはかりました。<br/> ・児童サービス担当者連絡会では、選書や除籍について児童書の情報共有・検討もおこなっています。<br/> ・高齢者サービス担当窓口（庄内図書館）が中心となって、高齢者支援課と連携し、6 館（平成 29 年度は 5 館）で認知症サポーター養成講座を実施し、</p>  |



|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | <p>あわせて資料の紹介、貸出を実施しました。</p> <p><b>【現状】</b><br/>成人・児童サービス担当者連絡会への施設長・副館長の参加や、施設長・副館長会議に地域館長が参加するなど、組織内での意思決定や情報共有が円滑になるよう努めています。分析・PR など課題ごとのチームの活動とともに、児童・成人など既存の担当者連絡会も並存しています。</p> <p><b>【課題】</b><br/>○地域館長会議、施設長・副館長会議および各グループ、担当者間の情報共有。<br/>○会議運営の効率化。<br/>○意思決定の迅速化</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：△】</b></p>   |
|  |  | <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/>各グループや担当者連絡会において代表や相談役、窓口担当等を設け、円滑な意思決定をめざします。またグランドデザインの間見直しに向けて、再度グループ制のあり方についても施設長・副館長会議を中心に検討をすすめます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p>  |
| <p>B<br/>職<br/>員<br/>a<br/>組<br/>織</p> | <p>⑤ <b>【職員の役割分担】</b><br/>職員の役割分担を明確にします</p> | <p><b>【平成 30 年度事例】</b><br/>・会議の効率化・迅速化をはかるために、成人・児童サービスの各担当者連絡会に相談役として、引き続き施設長・副館長のなかから 1 名ずつ配置しました。</p> <p><b>【現状】</b><br/>・担当者連絡会に調整担当の施設長・副館長が参加し、議論を深めました。<br/>・イントラネットを通じて、教育委員会総務付一般職非常勤への全館からの業務依頼を集約・調整しています。<br/>・分館の機能見直しを通じて、恒常的な業務や定例化している事業の必要性を再検討しています。</p> <p><b>【課題】</b><br/>○常勤職員が減少する中、多様な雇用形態での運営管理の継続実施に向け、必要な各職域の役割の再検討が必要。<br/>○職場内での相互の学びあいによる人材育成の仕組みづくり。<br/>○「豊中市人材育成基本方針」に基づき、職員ひとりひとりが果たすべき役割とめざすべき行動について振り返りの機会を持つ。</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：△】</b></p> <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/>・会議の効率化・迅速化をはかることをめざし、引き続き、担当者連絡会に</p> |

|                            |   |   |
|----------------------------|---|---|
|                            |   | <p>相談役として施設長・副館長から各 1 名、新たに担当職員から窓口担当を各 1 名配置します。</p> <p>・事務事業の見直し等による図書館全体の人員の見直しのなか、危機管理面に配慮した運営管理を整えつつ、豊中市職員また図書館職員として必要な各職域の役割について再度の周知をおこないます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>  |
| B<br>職<br>員<br>a<br>組<br>織 | ⑥ 【採用計画の作成】<br>常勤職員の年齢構成バランスを考慮した採用計画を作成します | <p>【平成 30 年度事例】</p> <p>・事務事業の見直し進捗管理（総務部行政総務課主管：(元) 特定事業の見直し)において、図書館事業総コスト・「公共施設総合管理計画」における考え方などの全体像のなかで、職員体制に関する議論も継続しておこなわれました。</p> <p>【現状】</p> <p>・令和 2 年度までの職員数変動予測に則り管理しています。</p> <p>・平成 30 年度新規採用職員は 0 名、平成 30 年度末定年退職者（司書）1 名、中途退職者（司書）2 名でした。</p> <p>【課題】</p> <p>○多様な雇用形態による運営管理の継続実施、貸出等一部業務のセルフ化による効果の最大化</p> <p>○労働市場の変化に対応し、優れた人材の確保、および図書館事業の継続性の確保</p> <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p> |
|                            |   | <p>【令和元年度の予定】</p> <p>・他部局や学校図書館から配属された職員を対象とする図書館内部の業務研修を引き続き実施します。</p> <p>・セルフ機の効果を最大化し業務の効率化・負担減少につなげます。</p> <p>・基本政策の一つである（仮称）中央図書館基本構想の策定にむけて、施設の再編とあわせ職員体制に関する議論もおこなっていきます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>   |
| B<br>職<br>員<br>a<br>組<br>織 | ⑦ 【館ごとの目標設定】<br>地域課題に基づいた館ごとの目標を設定します       | <p>【平成 30 年度事例】</p> <p>課の組織目標に基づいた各館の目標を設定し、事業に取り組みました。また、平成 29 年度に実施した来館者アンケートの結果を受けて、分析 PR チームを中心に各館ごとの市民目線で見えた象徴的な課題を挙げ、それぞれについて他の設問との相関関係等分析し、各館で検証をおこないました。検証をふまえ、地域へのポスター掲示や書架配置・見出しの見直し、行事カレンダーの作成などに取り組みました。</p> <p>【現状】</p> <p>施設の規模や、地域性を踏まえ、それぞれの地域の課題に対応するあり方、目標を設定しています。</p>   |

|                          |  |   |
|--------------------------|--|---|
|                          |  | <p><b>【課題】</b><br/>○図書館全域サービスの必要性から見た長期・短期の目標の設定。</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p>  |
|                          |  | <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/>建物の老朽化という視点からも図書館施設のあり方や配置を検討し、各館の目標を設定します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：A】</b></p>  |
| B<br>職員<br>b<br>人材<br>育成 | ⑧ <b>【関連部局との人事交流】</b><br>関連部局との人事交流を行います。                    | <p><b>【平成 30 年度事例】</b><br/>図書館事業の理解を深めるために、他部局からの人事交流の職員を対象に、年度当初に図書館のおもな取り組みに関する研修を実施しました。また日常業務に慣れるよう、人材育成を担当する職員を配置しました。人事交流を終了して図書館職場に復帰した職員から、その経験を全体職員会議で報告してもらいました。</p> <p><b>【現状】</b><br/>学校司書 2 名、常勤職員と他部局との人事交流（平成 29 年度 1 組）をおこなっています。</p> <p><b>【課題】</b><br/>○26 年度からの成果と課題をふまえた研修の実施。<br/>○業務内容および勤務の時間帯や休日の違いなどの周知</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p> |
|                          |  | <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/>・人事交流を引き続き実施していきます。また関連部局からの職員が司書とともに円滑に業務に取り組めるよう、研修の充実をはかります。人事交流の経験者からの報告を全体で共有するとともに、他部局の常勤職員を対象とした制度の PR も引き続きおこないます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p>   |
| B<br>職員<br>b<br>人材<br>育成 | ⑨ <b>【体系的な研修の実施】</b><br>これからの図書館サービスに必要な人材育成のためより体系的な研修を行います | <p><b>【平成 30 年度事例】</b><br/>文部科学省国立社会教育研究所主催の図書館司書専門講座に 1 名が参加しました。レファレンスサービスや障害者サービス、子ども読書活動、ヤングアダルトサービスなど職員が人材育成上必要な研修について継続して受講の機会を設けました。また大阪府図書館司書セミナーの参加者による研修報告をおこない、成果の共有化をはかりました。</p> <p><b>【現状】</b><br/>図書館司書専門講座参加者が、講座内容を全体職員会議で報告する等、共有の機会を設けている。全職員への講座内容の報告など共有の機会を設けている。各サービスについて、研修に取り組むとともに、講師として、職員派</p>   |

|                          |  |  |
|--------------------------|--|--|
|                          |  | <p>遣や実習館として研修、実施の協力もおこなっています。</p> <p><b>【課題】</b><br/>○経験年数や配属に即した体系的なプログラムの検討。</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p>  |
|                          |  | <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/>職員の多様な雇用形態をふまえ、キャリア形成の視点を大事にした研修を企画するとともに、さまざまな研修への参加を通して、市民サービスの向上につなげていきます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：A】</b></p>   |
| B<br>職員<br>b<br>人材<br>育成 | ⑩ <b>【先進事例の研究】</b><br>先進事例などの研究を業務として行うしくみを整え発信します | <p><b>【平成 30 年度事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の研究集会などで事例報告などをおこなう際、他の興味深い先進事例を含め、報告書で共有している（例：しょうないREKに関する事例報告をおこなった平成 30 年度新潟県公共図書館総合部門研究集会）</li> <li>・研修で得た先進事例については研修報告としてイントラネットでの文書の共有などをおこなっている。</li> </ul> <p><b>【現状】</b><br/>実施すべき個別事例については担当者を中心に、先進事例の研究をおこなっています。</p> <p><b>【課題】</b><br/>○業務としておこなえるのは喫緊の課題に関することが中心となり、幅広い事例の業務内での研究実施については課題があります。</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：△】</b></p> |
|                          |  | <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/>・次期システムリプレイスなどに向けて、先進事例などの研究をおこなっていきます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p>   |
| B<br>職員<br>b<br>人材<br>育成 | ⑪ <b>【学校図書館を支援する人材の配置】</b><br>学校図書館を支援する人材を配置します   | <p><b>【平成 30 年度事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館活用研修、校内研修を実施しました。</li> <li>・学校図書館を活用した授業実践の支援に小中学校へ出向きました。</li> <li>・「学校図書館を活用した授業実績（単元数）」の集約方法を見直し、分析結果を学校へフィードバックしました。</li> <li>・学校図書館を活用した授業等の好事例を取材し、「ブックプラネット通信」を発行、情報の発信と共有をおこないました。</li> <li>・大規模校における学校図書館業務の支援策等について検討をすすめました。</li> <li>・小中一貫校における学校図書館の検討をすすめました（(仮称)北校学校</li> </ul>   |

|   |  |  |
|---|--|--|
|   |  | <p>図書館担当者会)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」、豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会、子ども読書活動フォーラムを開催しました。</li> </ul> <p><b>【現状】</b><br/>読書振興課に配置された指導主事と公共図書館司書2名の計3名で、研修の企画・実施、学校図書館システム管理等を実施しています</p> <p><b>【課題】</b><br/>○小中学生の読書環境等の実態把握とそれに基づく各学校への学校図書館支援</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p>   |
|   |  | <p><b>【令和元年度の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生を対象にした読書に関するアンケートの実施について検討をすすめます。</li> <li>・(仮称)庄内さくら学園に向けた学校図書館統合について準備をすすめます。</li> <li>・新任学校司書を対象にした研修の充実をはかります。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p>   |
| <p>C<br/>施設・<br/>物流<br/>a<br/>施設<br/>活用</p> | <p>⑫ <b>【施設配置の最適化】</b><br/>施設配置の最適化を図ります</p> | <p><b>【平成30年度事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館協議会における議論をふまえ、中央図書館機能について検討しました。</li> <li>・図書館が身近にない地域においてコンビニエンスストアでの予約受け渡しの可能性について該当地域の業者と協議しましたが実施にはいたりませんでした。</li> </ul> <p><b>【現状】</b><br/>豊中市市有施設有効活用計画において検討をおこない、事務事業としての進捗状況を発表しました。総務部行政総務室「事務事業の見直しの進捗状況平成31年3月公表 p.18～p.20」参照</p> <p><b>【課題】</b><br/>○中央館機能を持った図書館を核とした施設配置のあり方</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：△】</b></p> <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/>「豊中市公共施設等総合管理計画」に基づき、図書館協議会の議論をふまえ、(仮称)中央図書館基本構想の令和2年度度中の策定に向けて取り組みます。また中央館機能を持った図書館を核とする施設配置や機能分担のあり方について市民ニーズ調査を実施するとともに庁内会議で検討をすすめます。</p> |

|                                       |   |  |
|---------------------------------------|---|--|
|                                       |   | <b>【優先順位：A】</b>  |
| C<br>施<br>設・<br>物<br>流<br>b<br>物<br>流 | ⑬ <b>【柔軟な物流体制】</b><br>市民に効率的に資料・情報<br>を届ける柔軟な物流体制<br>を整えます              | <p><b>【平成 30 年度事例】</b><br/>コンビニエンスストアでの予約受取りサービスに対応する物流体制について検討しましたが、サービスの実現には至りませんでした。</p> <p><b>【現状】</b><br/>大量の資料の移動は送り出す日をあらかじめ調整するなど、計画的で円滑な物流を心がけています。</p> <p><b>【課題】</b><br/>○物流の増加やサービスポイントの拡充にも対応できる物流体制の整備</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p>  |
|                                       |   | <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/>・新たなサービスの拡充にも対応できる効率的な物流体制について検討し、円滑な資料提供と魅力的な書架づくりをめざします。<br/>・運転部門の体制変更に伴い、動く図書館・配本車の効率的な運行をめざし、運行調整に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：C】</b></p>  |
| D<br>調<br>査<br>・<br>分<br>析            | ⑭ <b>【調査分析】</b><br>全市的な視野で調査分析<br>を行い、市民ニーズに沿<br>った適切な図書館サービ<br>スを提供します | <p><b>【平成 30 年度事例】</b><br/>・平成 29 年度実施の来館者アンケートについて分析し、サービス改善に役立てる旨、平成 29 年度第 1 回図書館協議会評価部会において報告しました。分析 P R チームではアンケートの分析作業をおこない、今後各館の利用者の視点から図書館のあり方を考えるうえで参考資料となるよう、報告書としてまとめました。<br/>・公益社団法人 日本図書館協会が発行する『日本の図書館－統計と名簿』を用いて、中核市を中心に市民 1 人当たりの図書館費の現状の把握をおこないました。</p> <p><b>【現状】</b><br/>報告書を読書振興課長、各館館長へ報告し共有をおこなっています。</p> <p><b>【課題】</b><br/>○各館におけるアンケートの活用<br/>○市民 1 人あたり図書館費の現状把握し、今後の職員体制や各館のあり方、サービスについての検討が必要</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：◎】</b></p> |
|                                       |   | <p><b>【令和元年度の予定】</b><br/>・平成 30 年度にまとめた報告書を基に、事務事業およびグランドデザインの間見直しをおこないます。<br/>・館内でのわかりやすい表示の作成など、各館でより親しみやすい、利用しやすい図書館に向けて創意工夫を続けます。</p>  |

|             |  |   |
|-------------|--|---|
|             |  | <p>・(仮称)中央図書館基本構想策定に向けてアンケート(来館者・郵送)を実施します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：A】</b></p>   |
| E<br>情<br>報 | <p>⑮ <b>【情報の積極収集、共有・活用】</b><br/>サービスに有効な情報を各職員が積極的に収集し、共有・活用します</p>              | <p><b>【平成 30 年度事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震や台風など自然災害発生時には、市内の避難所の開設状況など危機管理情報の収集・提供。災害時の情報収集に役立つパスファインダーを急ぎよ作成するなど、来館者への情報発信に努めた。</li> <li>・東久留米市立図書館の「図書館フェス 2018」イベントのひとつ「ひとハコ図書館」企画参加のため、「すだちのまち図書館」をテーマに豊中(空港=旅立ち)由来で活躍中の人・もの・ことに関する情報を、各職員が収集し、資料リストとして共有しました。</li> <li>・サッカーイベント会場配布のちらし挟み込みの情報や「とよなか手帖」の制作情報を共有し、図書館サービスの広報に活用しました。</li> </ul> <p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員が庁内情報や関係部局・機関・団体・企業との通常の連携業務の中で得た情報を、迅速に図書館全体で共有し、サービスにつなげられるよう、意識して取り組んでいます。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>○正確な情報を収集・選択し共有活動できるよう職員の情報リテラシー能力の向上</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：◎】</b></p> |
|             |  | <p><b>【令和元年度の予定】</b></p> <p>引き続き、職員 1 人ひとりが通常業務の中で、有用な情報を取捨選択し共有、サービス向上に活かせるよう取り組みます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：C】</b></p>   |
| F<br>資<br>料 | <p>⑯ <b>【地域で必要とされる資料の提供】</b><br/>地域の課題と利用の動向をさらに細やかに分析し、地域で必要とされている資料を提供します。</p> | <p><b>【平成 30 年度事例】</b></p> <p>各館の職員研修において、地域包括支援センター、就労移行支援事業を実施しているサポートセンターら～ぶの職員を招いて地域の現状とその課題の把握に努めました。</p> <p><b>【現状】</b></p> <p>各館では、毎年担当する課題解決に合わせた資料を購入するなど充実した蔵書構成をめざしています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>平成 29 年度実施の豊中市立図書館来館者アンケートについての分析をふまえたうえで、さらなる課題解決に向けて、テーマにあわせた資料の収集や蔵書構成などの検討が必要。</p>  |

|                       |                            |   |
|-----------------------|----------------------------|---|
|                       |                            | 【達成度：○】   |
|                       |                            | <p>【令和元年度の予定】</p> <p>暮らしの課題解決として各地域館でおこなっている4つの地域課題解決支援について資料利用の動向分析をおこないます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>   |
| G<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス | ⑰ セルフ貸出・返却・予約受取ができる環境を整えます | <p>【平成30年度事例】</p> <p>東豊中図書館、服部図書館にセルフ式予約受取棚を設置しました。</p> <p>【現状】</p> <p>東豊中図書館、服部図書館のセルフ式予約受取棚の利用実態についてのデータを収集し、今後の設置等についての検討材料とします。</p> <p>【課題】</p> <p>○セルフ貸出機、返却機のさらなる活用の検討、セルフ式予約受取棚設置に向けての図書館システム変更なども含めた環境整備</p> <p>○フロアワークの充実や利用者の利用動向についての分析が必要。</p> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>  |
|                       |                            | <p>【令和元年度の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野畑図書館にセルフ式予約受取棚を導入します。</li> <li>・システムリプレイスに向けて適正なIC機器の設置についての検討をすすめます。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>  |
| G<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス | ⑱ 開館日数等を拡充します              | <p>【平成30年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の大阪北部地震、9月の台風により臨時休館を余儀なくされました。台風による被害などにともない、集会室を持つ野畑・高川・服部・東豊中の4館において緊急的措置としての避難所開設の要請があり各館で受入態勢を整えました。</li> <li>・服部図書館では資料点検期間にも2日間セルフ式予約受取棚を開放し、予約資料を提供しました。</li> <li>・岡町図書館こども室の開館時間試行延長の効果検証を行い、平成30年度についても7月～8月の間試行を実施しました。</li> </ul> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内幸町図書館の開館日の変更（平成29年11月開始）についても新たに自習・新聞閲覧スペースを設置し、見守りサポーターの協力を得ながら週6日の施設開放をおこなっています。</li> <li>・バス図書室から新たに移転した利倉西センター図書室（平成29年7月開室）について、移転前は週1日だった開室を週2日とし、利便性の向上につなげました。</li> </ul> |



|       |                       |   |
|-------|-----------------------|---|
|       |                       | <p>・千里図書館では、引き続き定休日であった月曜日を開館するとともに5日間の資料点検中のセルフ式予約受取棚開放について広く周知し、利用の拡大につとめました。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○全館的な事業の見直しやさらなる効率化による状況に応じた応援体制の構築</p> <p>○図書館を災害時に避難所とする場合の態勢整備。</p> <p>○シフト勤務による職員間の連絡調整及び全体会議や研修の機会保障。</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p>                                     |
|       |                       | <p><b>【令和元年度の予定】</b></p> <p>・東豊中図書館は空調工事のため一時休館となる期間も予約本の受け渡し等、一部のサービスを継続して実施できるよう努めます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p>   |
| Gサービス | ⑱ 予約資料の受取場所の拡充を検討します。 | <p><b>【平成30年度事例】</b></p> <p>・図書館が身近にない地域においてコンビニエンスストアでの予約受け渡しの可能性について該当地域の業者と協議しましたが実施にはいたりませんでした。</p> <p><b>【現状】</b></p> <p>図書館利用に不便な地域の解消とともに効率的な運営をめざしコンビニエンスストア等の予約資料受取り場所について検討していきます。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○予約資料受取実施に向けてのサービスポイントの拡充を含めた環境整備</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：—】</b></p> |
| Gサービス | ⑳ ICTを活用したサービスを提供します  | <p><b>【平成30年度事例】</b></p> <p>・東豊中図書館、服部図書館のセルフ式予約受取棚を設置しました。</p> <p><b>【現状】</b></p> <p>東豊中図書館、服部図書館のセルフ式予約受取棚の利用実態についてのデータを収集し、今後の設置等についての検討材料とします。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○セルフ式予約受取棚セルフ予約棚の利用者へのPRと業務の見直し。</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p>  |

|                       |                     |  |
|-----------------------|---------------------|--|
|                       |                     | <p>【令和元年度の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野畑図書館にセルフ式予約受取棚を導入します。</li> <li>・セルフ予約受取棚未設置の図書館についても各館の状況を勘案し、設置の検討をおこなう。</li> <li>・デジタル化された庁内各部局の行政資料を収集し、整理・公開する仕組みを検討します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>  |
| G<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス | ⑳ 広域連携のさらなる拡大を行います。 | <p>【平成 30 年度事例】</p> <p>北摂地区 7 市 3 町の広域利用及び庄内図書館での大阪市立図書館との相互利用については豊中市を利用する他市民・町民の貸出冊数は増加しました。</p> <p>【現状】</p> <p>北摂地区広域利用及び大阪市との広域連携について関係市町と情報共有をはかりながらサービスの提供をすすめています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊中市民の広域利用の利用促進に向けての新たなPRの実施</li> <li>○システムの共同開発研究に関わる協力自治体の検討</li> </ul> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>                                     |
|                       |                     | <p>【令和元年度の予定】</p> <p>引き続き近隣の自治体との図書館システムの共同用の可能性等の研究の協力先を検討します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>   |
| G<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス | ㉑ よりきめ細やかな接客を行います   | <p>【平成 30 年度事例】</p> <p>認知症についての正しい知識と利用者への対応を学ぶため、高齢者支援課と連携し、市民対象の認知症サポーター養成講座を6館で実施し、職員も研修の機会としました。</p> <p>【現状】</p> <p>セルフ貸出機および服部図書館、東豊中図書館においてセルフ式予約受取棚の導入により、カウンター対応に余裕が生じたことから、フロアワークや利用者に対するよりきめ細かい対応ができるよう取り組んでいます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○30年度に引き続き、セルフ貸出機およびセルフ式予約受取棚の導入の効果を踏まえたフロアワークの充実</li> </ul> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> |
|                       |                     | <p>【令和元年度の予定】</p> <p>引き続き、研修等による接遇の向上をめざします。</p>   |

|                       |   |   |
|-----------------------|---|---|
|                       |   | <b>【優先順位：B】</b>   |
| G<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス | <p><b>㉓</b> サービスを具体的に例示し、図書館活用の幅を広げます</p> | <p><b>【平成 30 年度事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動く図書館車の更新に際した岡町図書館での展示で、動く図書館のサービスの紹介をおこないました。</li> <li>・とよなか産業フェア 2018 の図書館ブースで、デジタルフォトフレームでの図書館のビジネスサービスなどを紹介、また図書館クイズを実施してレファレンス資料やサービスについて紹介しました。</li> <li>・6月の大阪北部地震後、豊中市立図書館パスファインダー検索ナビ特別編「地震・防災」を発行し、関連情報を紹介しました。</li> </ul> <p><b>【現状】</b></p> <p>事業の中で、また行事に合わせ、図書館のサービス内容をお知らせする機会を盛り込んでいます。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○利用者が利活用できるサービスの例示に関するPR方法</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p>  |
|                       |   | <p><b>【令和元年度の予定】</b></p> <p>スライドや動画など、いろいろなメディアを活用した図書館サービスや活動のお知らせ、市民への情報リテラシー支援の手法について引き続き研究します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：A】</b></p>  |
| G<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス | <p><b>㉔</b> 集会室の利用を活性化します</p>             | <p><b>【平成 30 年度事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高川図書館では、行事開催時を除き静かに自習するスペース（ぶらりあん）、相談しながら自習するスペース（ほっとサロン）と用途別にゾーニング（空間分け）をおこないました。ほっとサロンでは昨年度に引き続き「地域子ども教室」「カフェマカロン」（サポートセンターる〜ぶ 就労移行支援事業）及び自由に会話しながら親子で楽しむ「ほっとサロンおはなし会」、第四中学夜間学級作品展などを実施しました。集会室では南部地域連携センター、複合施設内団体などと連携し「夏休み学習サポート」・講座とあわせて資料展示をしました。</li> <li>・野畑図書館では、2階ロビーに机と椅子を配置、フリースペースとして活用し、昨年度に引き続き夏休み中、児童集会室を自習に開放しました。また、2階ロビーにおいて里親パネル・第四中学校夜間学級作品展・新とよなか百景パネル展等を開催しました。</li> <li>・庄内図書館 3階協働事業スペースでは、しょうないREKによるリサイクル本販売のほか、図書館サポーターの活動や自習スペースとすることで多様な活用をめざしました。</li> </ul> <p><b>【現状】</b></p> <p>図書館の定例行事と登録団体の定期利用が中心となっています。自習スペ</p> |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  |   | <p>ースにおいては、児童生徒等への安全管理に配慮をおこなっています。また事業の内容によっては、音等の問題もあり他の利用者に理解いただけるよう事前周知をおこなったうえで実施しています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○集会室利用における規則の見直し、整備。</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p> <p><b>【令和元年度の予定】</b></p> <p>集会室とともに館内にある有効スペースを活かし、図書館の利用促進と地域の課題解決につなげていきます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p>   |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">G<br/>サ<br/>ー<br/>ビ<br/>ス</p> | <p><b>㊥ 豊かな市民力を育む生涯学習の情報基盤としての公共図書館の役割をはたし、市民の社会参加や地域との関わりづくりを支援します</b></p> | <p><b>【平成 30 年度事例】</b></p> <p>・音訳・点訳や子どもと本をつなぐボランティアによる活動等に加えて、庄内・野畑・庄内幸町図書館において図書館サポーターの活動を実施しました。また、高校生のボランティア活動も各館で受け入れました。中学生から大学生までが登録している「YA らぼ」（YA 世代のボランティア）も引き続き千里図書館で活動しています。</p> <p><b>【現状】</b></p> <p>・講座・研修を協力し定期的を開催することでスキルアップと学習意欲の向上をはかっています。</p> <p>・図書館サポーターの活動内容は庄内・野畑図書館が資料の修理や寄贈資料のフィルムコーティングのほか、庄内幸町図書館での自習・新聞閲覧スペースの見守りなどをおこなっています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○市民にむけた図書館の役割についての周知</p> <p>○市民の社会参加に対するニーズの把握</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p> <p><b>【令和元年度の予定】</b></p> <p>・引き続き「北摂アーカイブス」「しょうない REK」の事務局として事業に取り組みます。</p> <p>・図書館サポーター制度を継続し、市民の参加の機会を増やします。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">G<br/>サ<br/>ー<br/>ビ<br/>ス</p> | <p><b>㊦ 地域の情報を収集・提供・保存し、市民が地域情報を活用する機会を提供します</b></p>                        | <p><b>【平成 30 年度事例】</b></p> <p>・地域情報として活用できるよう、広報広聴課所蔵のスクラップ資料や写真を譲り受けました。</p> <p>・文書館と古文書に関する情報交換をおこない、市民がより古文書を活用しやすくなるよう、環境整備に取り組みました。</p>   |

|                       |                           |   |
|-----------------------|---------------------------|---|
|                       |                           | <p>・「子どもと本をつなぐ地域交流会」で地図によるワークを子ども読書活動連絡会委員や市民とともに実施し、子どもと本に関する市内の情報を、収集・提供しました。</p> <p>・関係部局・団体・機関と連携し、地域の植物園や音楽レコード、恐竜、夜間中学、里親制度、利用マナー、北摂アーカイブスの写真など市民の関心の高いテーマ展示の内容を共有し、各館の状況に合わせて実施しました。</p> <p>・台風時に出された行政からの災害情報や被災者向け支援制度のお知らせなどを各館で掲示しました。</p> <p><b>【現状】</b></p> <p>・各職員が通常業務の中で、意識して情報の収集・共有に努め、業務へ反映させています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○自然災害時の行政からの災害情報や被災者向け支援制度の収集、整理、編集、提示の迅速化</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：◎】</b></p> <p><b>【令和元年度の予定】</b></p> <p>引き続き、職員 1 人ひとりが通常業務の中で、有用な情報を取捨選択し共有、市民へ地域情報を提供できるよう取り組みます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p>             |
| G<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス | ②7 図書館サポーターへの参加機会の提供を行います | <p><b>【平成 30 年度実例】</b></p> <p>・庄内図書館では月 2 回、本の修理を中心にサポーターの活動をおこなっています。30 年度は、閲覧用の椅子カバーの張替え作業などにも参加していただきました。また、3 月にはサポーターと担当職員による振り返りをおこない、市民目線による事業への提案や意見交換をおこなうとともに、サポーター募集のポスターをサポーターと担当職員で作成しました。さらに「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」を実施し、サポーター事業の案内をおこないました。</p> <p>・野畑図書館では、30 年 7 月から月 2 回に回数を増やし、CD や本の装備を中心にサポーターの活動をおこなっています。</p> <p>・庄内幸町図書館では、30 年 1 月から自習・新聞閲覧スペースの見守りサポーターを開始しました。</p> <p><b>【現状】</b></p> <p>・庄内図書館ではのべ 131 人が参加し、1,108 冊の本の修理や装備ができました。</p> <p>・野畑図書館ではのべ 101 人が参加し、410 冊の本の装備と 489 枚の CD ケースの装備や点字の作成ができました。完成した CD や本は市内の各図書館で利用されています。</p> <p>・庄内幸町図書館では自習・新聞閲覧スペースの見守りサポーターにのべ</p> |

|                |                                |   |
|----------------|--------------------------------|---|
|                |                                | <p>58人が参加しています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○継続したサポーターの募集および確保</p> <p>○多くの市民に参加してもらえるよう、参加者のニーズの把握と魅力あるメニュー作り</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：◎】</b></p> <hr/> <p><b>【令和元年度の予定】</b></p> <p>・引き続き「図書館のお仕事体験ツアー」を開催してサポーター希望者を募集し、活動の機会を提供します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p>  |
| <p>広<br/>報</p> | <p>⑳方針を定めて効果的な<br/>広報を行います</p> | <p><b>【平成 30 年度事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東豊中図書館・服部図書館の開館周年記念として、利用者に向けてクラフト紙を使用したブックカバーを作成、配布しました。</li> <li>・ガンバ大阪市民応援デーでは、転入者向けチラシをアレンジした登録用紙つきのチラシを配布しました。</li> <li>・広報とよなか「とよなかタイムスリップ」への情報提供と北摂アーカイブス資料を使用した写真展の開催など、データの蓄積と資料活用としての図書館を認識していただく取組みを継続的にすすめています。</li> <li>・しょうない REK の Web ページをリニューアルしました。しょうない REK のメンバーや関連団体の情報・写真を掲載し、よりわかりやすく親しみやすいページをめざしました。</li> <li>・イベントで使用する図書館ののぼりを作成しました。</li> </ul> <p><b>【現状】</b></p> <p>行事や記念事業の機会をとらえ、図書館 PR につなげる工夫を重ねています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○人口に比して登録が少ない地域への働きかけ</p> <p>○図書館 Web ページやメールマガジンの効果的な運用や新たな発信ツールの活用の検討</p> <p style="text-align: right;"><b>【達成度：○】</b></p> <hr/> <p><b>【令和元年度の予定】</b></p> <p>引き続き転入者向けチラシの配布、ミニコミ誌などによる行事や取り組みの紹介、まちライブラリーの参加などの取り組みを通して図書館の PR に努めます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【優先順位：B】</b></p> |